

令和5年度 千葉県立野田中央高等学校 シラバス

教科	情報	科目	情報研究	単位数	2	クラス	3年選択
教科書	実教出版「最新社会と情報」		副教材等	なし			

1 学習の到達目標等（科目の目標）

<p>1 コンピュータにおける情報の表し方や処理のしくみ、情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解する。</p> <p>2 問題解決においてコンピュータを効果的に活用するための科学的な考え方や方法を習得する。</p>

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5	コンピュータの基本操作 プログラミング実習1	C#によるプログラミング1	コンピュータ室の利用、ログイン、基本操作について学習する。 GitHub のアカウントを取得する。 Visual Studio を用いて、プログラミングの基礎を学習する。	実習ファイルの提出状況などを評価する。
6 7		C#によるプログラミング2	C#を用いて、簡単なプログラミングの応用を学習する。 ループ、条件分岐など応用的なプログラムを作成する。	
9 10	プログラミング実習2	C#によるプログラミング3	C#を用いて、オブジェクト指向プログラミングの基礎を学習する。	実習ファイルの提出状況などを評価する。
11 12		WindowsForm プログラミング1	C#を用いて、WindowsForm プログラムを作成する。	
1 2 3	プログラミング実習3	WindowsForm プログラミング2	（2学期のつづき）C#を用いて、WindowsForm プログラムを作成する。	実習ファイルの提出状況などを評価する。

3 評価の観点

関心・意欲・態度	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。
数学的な見方や考え方	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。
数学的な技能	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。
知識・理解	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。

4 評価の方法

関心・意欲・態度，思考・判断・表現，技能，知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

確かな学力を身につけるためのアドバイス

身の回りのコンピュータのソフトウェアやスマートフォンのアプリは、すべて誰かが作ったプログラムで動作しています。そのことを体験し学習するためにプログラミング言語やアルゴリズムの基礎について学習します。そのためにはある程度、数学的な知識や考え方を必要とします。ただ単に言われたとおりにプログラムを打ち込むのではなく、考え方や論理をできるだけ理解するように努めましょう。

授業を受けるに当たって守って欲しい事項

- ・コンピュータ室には精密な機器が多く設置されているので、取り扱いには細心の注意を払い、不要な操作・いたずらなどは絶対にしないこと。
- ・コンピュータ室は飲食厳禁・情報機器及びメディアの持ち込み禁止。
- ・授業に指定されたものだけをもって、授業の開始前に移動してサインインを済ませておくこと。
- ・その他、授業の趣旨に反する行為は絶対にしないこと。